

### ■分析と今後の指導上の工夫 3学年

○良好なもの ●課題が見られるもの

宇都宮市平均と比較し、特徴的であると思われる項目を本校の課題ととらえて分析した。

○「各教科などの学習は、将来のために大切だ。」と肯定的に捉えている生徒の割合が、ほぼ全教科で市の肯定割合を上回っており、意識づけは定着している。さらに学習への意欲をもたせることで学力向上につなげたい。

○相手の話を最後まできちんと聞き、話し合いに自分から進んで参加し、自分の考えを話すことができる生徒の割合が昨年度よりも多く、地域における目標の一つであるコミュニケーション能力の向上が見られる。引き続き授業の展開などを工夫することにより、一層高めていきたい。

○人のために役立ちたいという気持ち、また、助け合いや協力することの大切さを感じ、責任をもって仕事に取り組んでいる生徒の割合が市の割合を超えている。人権教育と合わせながら、よりよい集団生活の向上につなげていきたい。

○毎日、朝食を食べている、また、好き嫌いなく食べているなど、食習慣に関する項目では、ほぼ全てで市の肯定割合を上回っている。引き続き、保護者会等で市の学校教育スタンダードと関連づけて、取り組んでいきたい。

●学習することの大切さを感じている生徒の割合が多い一方、1日の学習時間、および積極的な取り組み、復習、計画的な学習を行っている生徒の割合が低く、全てにおいて市の割合を下回っている。学習の方法を指導し、適切な宿題の出し方について工夫するとともに、保護者会等を利用して家庭学習の充実に向けての理解と協力を得て、学校と家庭が一体となった望ましい家庭学習習慣の定着と学力向上にむけて取り組んでいきたい。

●携帯やスマートフォンの所持率および1日の使用時間が市の平均値を上回っており、また、使用時刻も遅い傾向が見られる。集会等で使用方法やルールを指導するとともに、保護者会等で保護者の理解と協力を得て、正しい生活習慣の確立に向けて努力していきたい。